

2020

安 全 報 告 書

2020. 7. 1

伊豆箱根タクシーグループ

■ 1. ごあいさつ

いつも伊豆箱根タクシーグループをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

私たちは、「地域に根ざし安定した事業を展開し、地域住民および来遊者（観光利用者）に地域で1番の企業として選ばれる会社となる。」ことを目標として、事業運営をしています。

公共交通を担うタクシーには、安全・安心・快適輸送が求められており、その中でも最も重要視していることは、お客さまの安全・安心を何より最優先に考えた行動を取っていくことです。新型コロナウイルス感染防止においても、様々な取り組みを積極的に行い、お客さまに安心してタクシーをご乗車いただけるよう努めてまいります。

常に社員一人ひとりが、安全確認を怠ることなく業務を遂行し、お客さまを笑顔にするサービスを心がけていきます。

これからも、皆さまに安心してご利用いただけますよう全社員が一丸となり、安全への取り組みを継続し、さらなる安全性の向上に全力で邁進してまいります。

2020年7月



伊豆箱根交通株式会社
伊豆箱根タクシー株式会社
代表取締役 土屋 貴紀

■ 2. 輸送の安全に関する基本方針

安 全 方 針

1. 常に安全を最優先に、事業・サービスを推進します。
2. 常に法令・規則をよく理解し、これを守り、誠実に事業に取り組みます。
3. 常に安全管理体制をチェックし、その向上に努めます。

1. 代表、役員及び社員が一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し厳正忠実に職務を遂行します。
3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
4. 職務の遂行に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
5. 事故・災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
6. 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
7. 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

■ 3. 輸送の安全の実態（2019年度）

1. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故
2019年4月1日～2020年3月31日 0件
重傷人身事故 0件
車両装置の故障 0件

2. 2019年度安全重点施策の実施結果

【数値目標】

項 目	目 標	実 績
有責事故	50%削減	1.1%増加
燃費向上（対前年度） LPG車	0.5%向上	増減なし
〃 ガソリン車		1.4%向上
重大事故（加害人身事故）	0件	0件

■ 4. 安全重点施策の内容と進捗

1. 2020年度安全重点施策

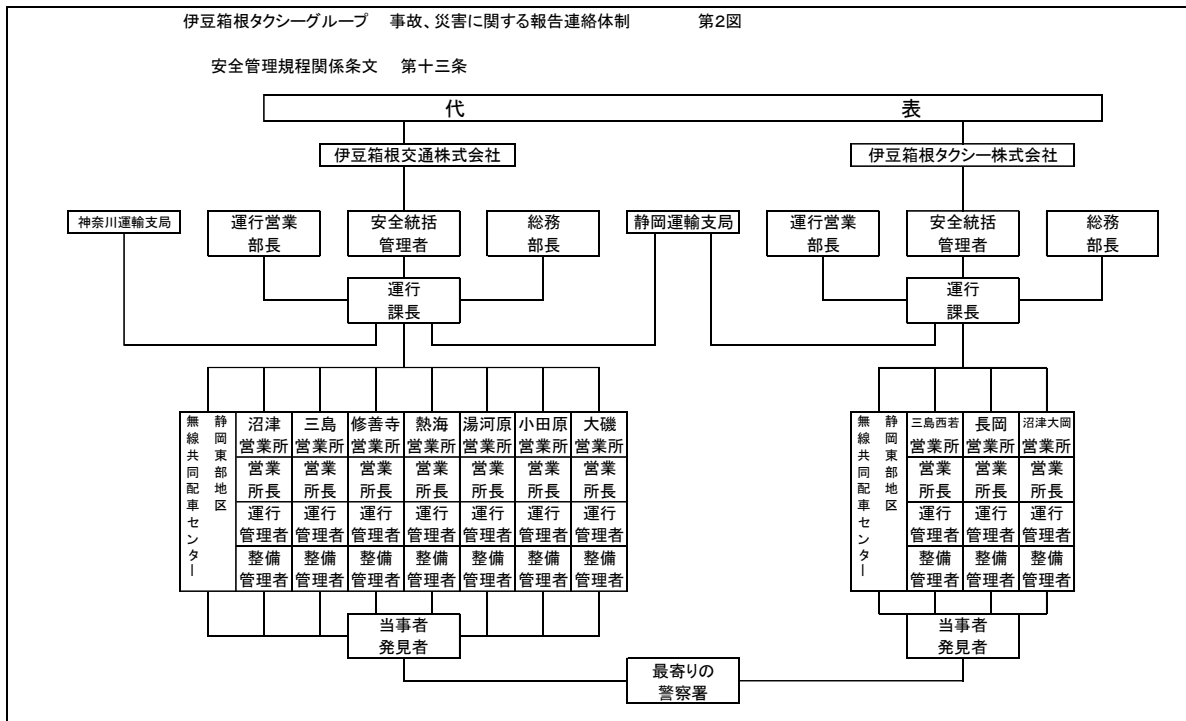
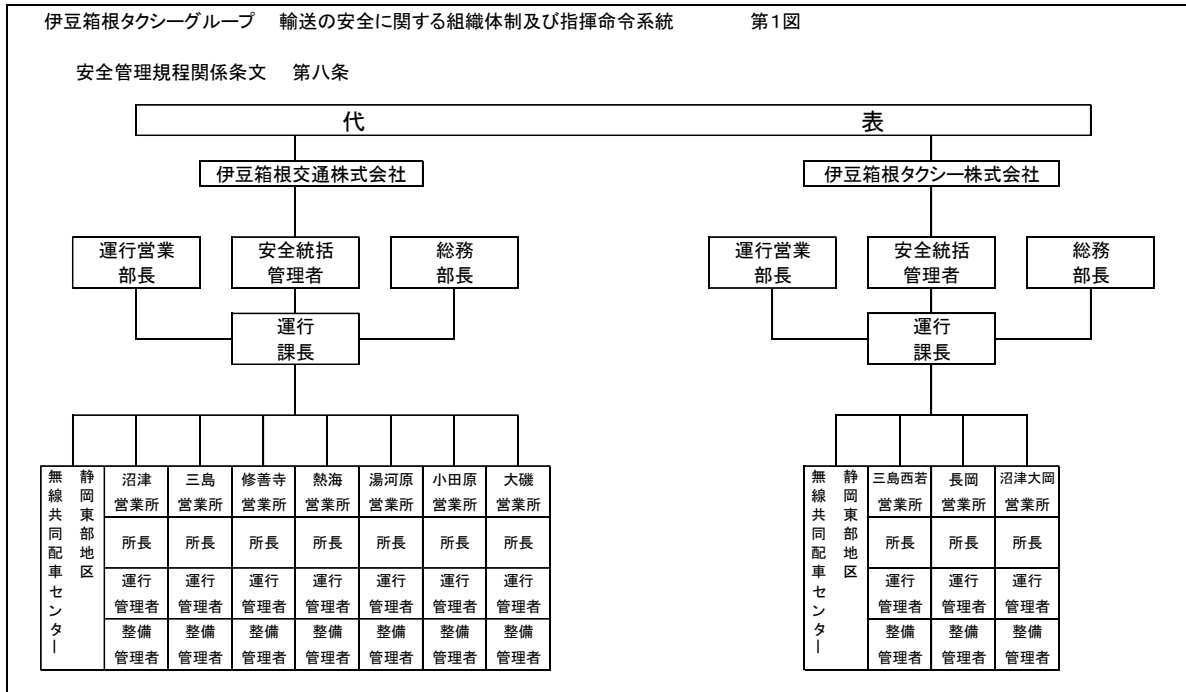
- (1) 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守します。
- (2) 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有します。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施します。

2. 数値目標

- (1) 有責事故 対前年比20%削減
- (2) アルコール検知違反（道路交通法による） 0件
- (3) 2019年度の燃費実績より0.5%向上させる
- (4) 重大事故（骨折を伴う加害人身事故）0件
- (5) 業務中における通信端末機の取り扱い違反（道路交通法による） 0件

5. 安全管理体制と方法

1. 安全管理体制



2. 安全管理方法

(1) 運輸安全推進委員会（月1回開催）

伊豆箱根鉄道グループの各社により構成されており、公共交通機関として安全輸送という社会的使命を果たすため、安全対策の全般的な策定や適切な安全マネジメントを行い継続的に安全性を向上させることを目的に「運輸安全推進委員会」を毎月1回開催しています。

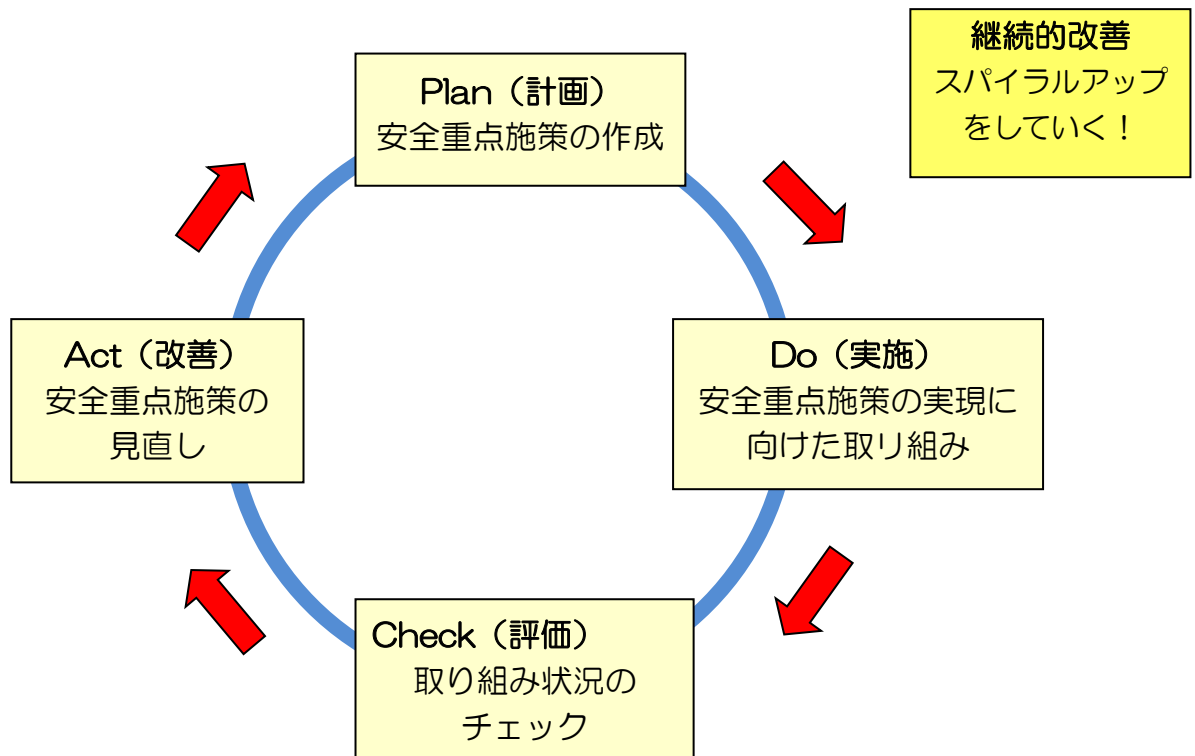
(2) リスクマネジメント部会（月1回開催）

運輸安全推進委員会の下部組織として、運輸部門、関係部門で構成し、安全に対する報告や事故等の報告、それに対する再発防止など安全対策に対し意見交換を行い、それぞれの部署における安全対策に活用しています。

3. 安全管理体制の見直し

毎年、安全重点施策の進捗状況を確認し、安全管理のPDCAサイクル等に基づき、安全重点施策の見直しを実施し、継続的に安全性の向上を図ります。

安全管理のPDCAサイクル図



■ 6. 安全対策の実施状況

1. 輸送の安全に関する教育及び研修計画

- (1) 運行管理者資格取得の推進
- (2) 運行管理者会議（毎月）
- (3) 整備管理者会議（年間4回）
- (4) 職場長会議（毎月）
- (5) 事故査定委員会・事故防止委員会（毎月）
- (6) 事故防止研修会（年間18回）
- (7) 防犯研修会（年間10回）
- (8) SS（セーフティ&サービス）会議（毎月）
- (9) 輸送の安全に関する内部監査の実施（全営業所対象）
- (10) 年度指針説明会
- (11) カウンセリング（全乗務員対象：年1回）
- (12) 事故防止・接客サービス徹底運動（8月・12月）
- (13) タイヤチェーン装着講習会
- (14) 安全運転技能競技会
- (15) 走行中の携帯電話、スマートフォン等の使用に起因する事故防止対策

■ 運行管理者会議



各営業所の運行管理者による会議を開催し、安全管理体制の構築、事故防止対策について協議を行いました。

■ 事故防止研修会



本社運行課が主体となり、事故防止に関する研修会を各営業所で開催しました。研修では、アルコールに対する基礎知識や、事故発生時の対応、またドライブレコーダーの映像を使用し、危険予知について議論を行いました。業務中の携帯電話使用についても周知・徹底を図りました。

■ 防犯研修会



■ タイヤチェーン装着講習



■ 安全運転技能競技会

乗務員の運転技能や接客サービスの向上を目的に、「安全運転技能競技会」第3回目を開催しました。この競技会は、伊豆箱根タクシーグループの全10営業所から各2名ずつ、運転技能・接客サービスに優れた20名を選抜し、日頃の運転技術、接客サービスを競いました。



2. 輸送の安全に関する設備対策

- (1) 常時記録型のドライブレコーダー
- (2) 後席シートベルト着用を促す自動音声ガイダンス
- (3) ドア開閉時の事故防止（スライドドア車両の導入）
- (4) 後退衝突事故防止のためバックカメラの導入
- (5) 追突防止装置を搭載した新型タクシー車両「JPN TAXI」の導入

■バックカメラの導入

配車連動のカーナビゲーションとバックカメラを同時に導入しました。

これにより後退時の死角が減少し、後退時の衝突事故防止に役立っています。



追突防止装置を搭載した新型タクシー車両「JPN TAXI」の導入

外観



開口部の広いスライドドア



プリクラッシュセーフティシステム

（レーザーレーダー＋単眼カメラ方式）

進路上の先行車をレーザーレーダーと単眼カメラで検出。一定の条件下のもと警報を発して回避操作を促します。



■ 7. 輸送の安全に関する内部監査

1. 実施日

- (1) タクシーグループ内監査（全10営業所）
2019年9月18日～2020年3月18日
- (2) 伊豆箱根鉄道グループ内監査
2019年4月18日～2019年5月17日

2. 目的及び内容

安全管理体制の構築・改善の取り組みが安全管理規程に基づき適切に運用され、有効に機能しているかを確認し、安全管理体制上の課題や問題点を見出すことを目的としています。監査結果に基づき、必要な是正措置・予防措置を行っています。

■ 8. 安全統括管理者

道路運送法第22条の2第4項の規定により、下記のとおり安全統括管理者を選任しています。

氏名	役職	選任年月日
山田良生	常務取締役	2018年4月1日